

KYOWA RUBBER NEWS LETTER

入梅の候、貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。共和ゴム株式会社代表取締役の寺阪です。日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社子会社である農業法人「よしかファーム株式会社」では、順調に高糖度トマトが生育しており、初収穫・初出荷も既にスタートしております。

またこの度、よしかファーム株式会社では「糖度保証ミニトマト」のブランド構築のためミュージックセキュリティーズ株式会社を取扱者としたクラウドファンディングを次の通りスタートさせました。

ファンド名:
よしかファーム糖度保証ミニトマトファンド
出資金募集金額:3,140,000円
出資金申込単位:21,600円/口
募集期間:2017年5月12日~11月30日
償還期間:2020年12月
(※出資者特典として4千円相当の高糖度ミニトマトを進呈致します)

よしかファーム株式会社では他社にはない差別化戦略として、収穫したトマトの糖度を全て測定し、糖度毎に梱包することで、「糖度保証」を行います。高糖度ミニトマトに対して、更に「糖度保証」という付加価値を付けることで高収入を目指します。また消費者の皆様様に安心・納得してご購入頂ける機会を提供することで、「糖度保証された高糖度ミニトマト」のブランドを構築したいと考えております。

募集期間は半年間だったのですが、凄いハイペースで出資が集まり、たった5日間で募集金額が満額に達し受付終了となりました!やはり市場には「糖度保証」という隠れた顧客ニーズが存在しており、多くの方々がこの新しいビジネスモデルを支援してくれて、とても心強いです。是非ともこのビジネスモデルを成功させ、出資者の皆様方に、よりたくさんのお配当が出来るように従業員一同頑張っていく所存ですので、引き続きご支援のほう何卒宜しくお願い致します。



代表取締役 寺阪 剛
Takeshi Terasaka



新着ファンド
※画像は5月15日時点のファンド募集時のものです

先進手法の高糖度ミニトマト栽培、糖度保証によるブランド化に挑戦

よしかファーム糖度保証ミニトマトファンド
急募 満額即完結

55%

一口金額 ¥21,600 募集総額 ¥3,140,000



<http://www.kyowa-r.com/>

KYOWA
RUBBER
NEWS
LETTER

共和ゴムニュースレター 第18号
2017年6月発行

ニュースレターのバックナンバーは
弊社ホームページでご覧いただけます。

共和ゴム株式会社

本社

〒573-0102 大阪府枚方市長尾家具町3丁目4番地3
Tel. 072-855-1039 / Fax. 072-855-1090

東日本営業所

〒103-0027 東京都中央区日本橋2-15-3 和孝江戸橋ビル4F
Tel. 03-5255-5133 / Fax. 03-6740-2115



2017.6 Vol.18

NEWS

01 スポーツフィールド用MAT看板が「FCティアモ枚方」様で採用されました！

スポーツフィールド用MAT看板が「FCティアモ枚方」様で採用されました。

FCティアモ枚方は、枚方、寝屋川、交野を本拠地とする関西リーグ1部に所属しているサッカーチームであり、Jリーグを目指しております。当社も創業以来ずっと枚方市が所在地なので地域貢献としてこれからも支援していきたいと思っております。



02 空管路止水栓 7月発売予定！

電気・通信ハンドホールの予備管路(空管路)の止水栓であり、7月発売予定となります。

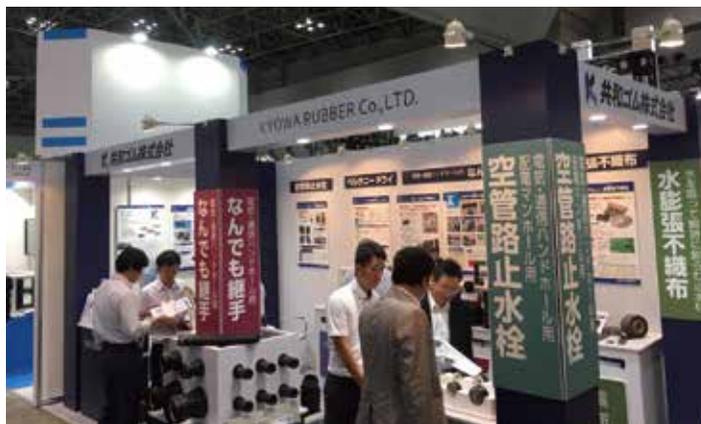
耐水圧0.1MPaが特長となります。



営業部門 Sales Department



たくさんのご来場ありがとうございました。



いつも大変お世話になっております。
西日本営業部の小合(おごう)です。
日頃からガンバ大阪をこよなく愛する46歳です。
またモータースポーツ観戦も大好きです。

5/17~5/19 東京ビッグサイトにて電設工業展に出展致しました。会期中、弊社ブースにご来場いただきました皆様には心から御礼申し上げます。

今回はハンドホール接続継手の『なんでも継手』と新製品である『空管路止水栓』を出展致しました。特に止水栓につきましては、以前からエンドユーザー様よりお問い合わせを頂いており、今回の展示会での発表となりました。



西日本営業部
小合 徹

「空管路止水栓」をご覧になられたお客様からは『待っていました』とお言葉を頂くとともに、もう少しうして欲しいといったご要望も早速賜り、生のご意見を頂戴するよい機会になったと思います。現在、お取引のあるお客様はもちろん、多くの方に見ていただき今後の開発に役立てることができる場に携わられたことを誇りに思います。

毎年、最終日には実際の工事現場で施工されている工事業者様のご来場が多く、弊社の製品(なんでも継手)を直接手に触れて作業されている多数の工事業者様から『これ使いやすいね』といったお褒めの言葉を頂きましたこと、改めて御礼申し上げます。



新製品の開発は時間もかかり、上手くいかないことのほうが多く、産みの苦しみは大きいのですが、こうして製品発表の場でお客からの声を頂くことでその苦勞が報われるものと思っております。そうやって世の中に出た新製品を拡販していくのが我々営業の使命と思い、今後とも精進してまいります。